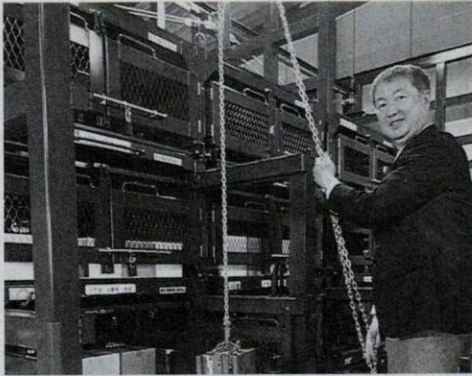


金型保管、飯能にロッカー

日本成型産業



射出成型機の販売・買い取りを手掛ける日本成型産業(東京・千代田)は、金型用の保管ロッカーを埼玉県飯能市に開設した。自動車部品メーカーなどが下請け企業に金型を無償で長期間保管させる下請法違反が相次ぎ表面化していることに対応する。重量のある金型を適切に保管できる場所を提供し「下請けいじめ」の解消を呼びかける。

車・半導体部品 下請法違反、解消呼びかけ



神奈川県のレストラン用品工場には使われなくなった金型が放置されている

保や防犯のため、網状のメッシュで囲うなどの工夫も凝らした。1年以上の契約の場合は1区画を月額5万円(税別)で貸し出す。

日本成型産業が金型専用の保管ロッカーを開設した背景には、取引先の中小零細企業が金型の置き場に困っている現状がある。金型は部品製造のための型枠で、金属や樹脂などの材料を流し込んで成型するために使われる。重さが1000キログラムを超すものも少なくない。

自動車や半導体関連の部品メーカーは部品製造に使う金型を下請け企業に長期にわたって無償保管させてきた。公正取引委員会は下請法で禁じる「不当な利益要請」にあたるとして監視を強化し、2023年3月から日産自動車子会社などに

倉庫は無人で運営するが、入室に電子キーを必要とするなどセキュリティに配慮した。棚の壁面はさびを防ぐ通気性確保

山本社長は下請法違反の解消に向け、金型ロッカーの利用を呼びかける(埼玉県飯能市)

相次ぎ勧告を出している。これを受けて下請法違反の認識は広がってきたが「慣行の解消はまだ途上」(公取委)なのが見えだ。

匿名を条件に取材に応じた神奈川県のプラスチック部品工場は、発注先から預かった約1200個の金型を保管している。現在使っているのは300個弱で、残りはただ保管しているだけだ。量産終了後の突然の需要に備えるとの名目で発注先は返却に応じず、30年以上保管しているものもあるという。

この工場は発注先との交渉を重ね、一部からは保管料支払いの約束を取り付けた。だが本来に求めているのは、発注先に

利用する予定がない金型を保管場所としてロッカーの利用を呼びかけていく。主に発注先企業の利用を想定しており、山本健太社長は「下請けに負

担を強いる慣行の解消に貢献したい」と話す。需要が増えれば新たなロッカーの開設も検討するという。(吉田渉)

39 埼玉・首都圏経済

【第三種郵便物認可】

日本経済新聞

4月1日

火曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)7639-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
札幌支社 電話(011)281-3211